



平塚市美術館エントランスにて

平塚 MAC 学習会

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田忠宏



芸術の秋 平塚市美術館で 小倉遊亀展を鑑賞

本年度第3回学習会として10月23日、18名が集い、平塚市美術館で開催されている芸術の秋を飾る企画展「小倉遊亀展」の鑑賞会を行いました。

最初に、今回チューターをお願いした当展の企画担当・主査兼学芸員の勝山滋氏から小倉画伯のプロフィールと歩みについて、説明がありました。

画伯は、1895年に滋賀県大津市で生まれ、奈良女子高等師範学校に入学し国語漢文と図画を専攻、卒業後は教職につきながら、引き続き絵を学んでいきました。

1920年に横浜のミッシェル・ユンスクール・捜真女学校に移り、この年に大磯在住の終生の師安田鞞彦先生に弟子入りして、本格的に日本画家としての道を歩み始めました。

これを機に大磯に居を移し、結婚してからは北鎌倉に住むなど湘南に縁のある画家の一人となりました。画伯は37歳の若さで日本美術院の同人に推挙さ

れ、その後、日本芸術院賞受賞、文化勲章受章、日本美術院理事長の重責を担うなど目覚ましい活躍をされました。

加えて、「白寿記念展」や「百歳記念展」を開催されるなど生涯にわたり画業に専念され、2000年夏、105歳で逝去されました。



今回の追悼展は県内では17年振りで、約120点を展示しています。また、画伯の歩みを理解するためには、作品を戦前と戦後に分けて観ていただくとよりよいのではと考えています。

この後、作品鑑賞に移り、戦後の作品ながら、自画像で画伯の手柄をくみ取っていただきました。 「画人像」

を鑑賞、次いで戦前の作品から、「夏の客(右)(左)」、「受洗を謳う」、「浴女その一」などをエピソードを交えて解説していただきました。続いて、戦後の作品として、「家族達」、女優で歌手の越路吹雪をモデルにした「コーちゃんの休日」、画伯の最高傑作の一つと言われている「径(こみち)」を、また、画伯の作品に描かれている愛

蔵品の陶磁器類などについても説明していただきました。最後に、家族・人をこよなく愛した画伯の作品の一つ「智子ちゃん」を鑑賞して学習会を終えました。皆さんには、芸術の秋のひと時を、明るく慈愛に満ちた珠玉の作品に囲まれて過ごすことができました。

当面のスケジュール

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 11月28日(水) | サロン会 |
| 12月3日(月)、17日(月) | パークゴルフの会 |
| 12月6日(木)、27日(木) | パソコン勉強会 |
| 12月7日(金)、14日(金)、21日(金)、27日(木) | 囲碁を楽しむ会 |
| | 歩く会 |
| 12月18日(火) | MACうた仲間 |
| 12月26日(水) | |

千坂 弘保記 記

囲碁を楽しむ会

手談による

「コミュニケーション」も楽し

原則、金曜日の午後、平塚中央公民館の一室で対局しています。

雰囲気は比較的和気霽々(あいあい)のんびりして

「もっと強くなりたい」という向上心とフアイトは大事ですが、自分の学んだ成果を試しながらも、和やかに対局を楽しんでいる方が多いようです。

多くの囲碁仲間との楽しい交流が待っています。初心の方でも、経験者の方でも大歓迎です。ぜひお気軽にいらっしやってください。

及川 慎也 記